



事務局ニュース

No. 95
日本ボーイスカウト
愛媛県連盟

第23回世界スカウトジャンボリー閉幕



- 【会場】 山口県山口市阿知須きらら浜
- 【参加者】 大会運営スタッフ(本部員・JDT・IST・広島ピースプログラム等)23名
第9分団 KUJU 第10隊38名・11隊36名(徳島連盟4名含む)
- 【大会期間】 7月29日(水)～8月7日(金) ※28日設営(第10隊)・8日撤営(第11隊)
- 【内容】
 - ・モジュールアクティビティー
 - 場内プログラム(地球開発村・カルチャー・サイエンス)
 - 場外プログラム(ネイチャー・コミュニティー・ウォーター)
 - 広島ピースプログラム
 - ・サブキャンプライフ
 - 12泊13日の野営生活
 - モルドバ・チュニジア・アメリカ・韓国・台湾スカウトとの交流会 等

7月28日から8月8日までの12日間にわたって、山口市阿知須のきらら浜で、第23回世界スカウトジャンボリー(以下23WSJ)が開催され、愛媛県連盟からも運営スタッフ・参加隊2個隊合わせて約100名が参加した。

世界スカウトジャンボリーは、4年に1度、世界各国からボーイスカウトが集まる国際キャンプ大会で、今回は152の国と地域から約34,000人の青少年スカウトや指導者が集まった。期間中はテントで野外生活を送りながら、場内外での様々なプログラムに取り組んだ。

参加者約34,000人のうち日本人は約6,500人で、圧倒的に海外からの参加者が多く、会場内を歩くと海外にいるのではないかと錯覚するほど国際色豊かであった。

ボーイスカウト運動発祥の地である英国から約4,000人の参加者が来日したほか、スウェーデン約1,800人、米国約1,600人と大派遣団が参加した。オランダや台湾も1,000人を超えた。これだけの規模の国際大会が日本で開かれるのは珍しいことで、世界スカウトジャンボリーが日本で開催されるのは、1971年に静岡県朝霧高原で開かれた13回大会以来、44年ぶりの一大イベントであった。

また、23WSJ終了後には、愛媛県連盟関係者でイギリス隊30名・オーストラリア隊199名のホームステイを受け入れた。新居浜・西条・今治・松山・南予の5地区が、それぞれの地域にちなんだ特色あるプログラムで海外スカウトをもてなした。

愛媛を出発



広大な駐車場



キャンプサイトの設営



大迫力の開会式



キャンプサイトでの生活



県連役員視察



プログラムを通じた国際交流



撤営・閉会式・帰県



県内各地でのホームステイ



23WS Jに参加したスカウト関係者及びホームステイを受け入れてくださったホストファミリーの皆さん、活動をバックアップしていただいた各地区・各団の関係者の皆さん、本当にありがとうございました。
この23WS Jにかかわる全ての事業が愛媛県内のボーイスカウト活動を活性化させる起爆剤になることを願っています。